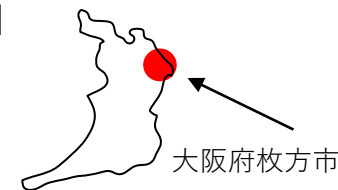


都市部における少量多品目有機農業の担い手育成

- 枚方市は大阪府の北東部に位置する中核市で、大阪市と京都市のほぼ中間にあることから、江戸時代には宿場町として栄えるなど、古くから交通の要衝として発展してきた。
- 枚方市の農業は都市近郊化型の稲作中心で、地産地消を目的とした少量多品目の野菜が栽培されている。市東部の穂谷地区は農業振興地に指定され、比較的に農業が盛んな地域である。
- 高齢化に伴う担い手不足を解消し、遊休農地を増やさないためにも、担い手の育成が急務である。

【位置図】



大阪府枚方市

取組前

- 本地域は、都市部で開発期待が高いことから、農地の減少が加速化している。
- 高齢化に伴う担い手不足を解消し、遊休農地を増やさないためにも、担い手の育成が急務である。
- 市東部の穂谷地区は農業振興地に指定され、比較的に農業が盛んな地域である。
- R5年度までは大阪府の事業で大阪産（もん）スタートアカデミーを実施し、R6年度よりひらかた有機農産物アカデミーを実施。

取組内容

- R7年度はR6年度に引き続き、ひらかた有機農産物アカデミーを開講。
- 市認定研修機関の2か所と連携し、有機農産物についての栽培研修と座学研修を実施。
- 社会人等が仕事の傍らに受講できるよう土曜日又は日曜日に実施。
- 地元スーパーとも連携し、販売実習も実施。
- 就農前後での技術指導や営農計画、農地・販路の斡旋などサポートチームで支援。

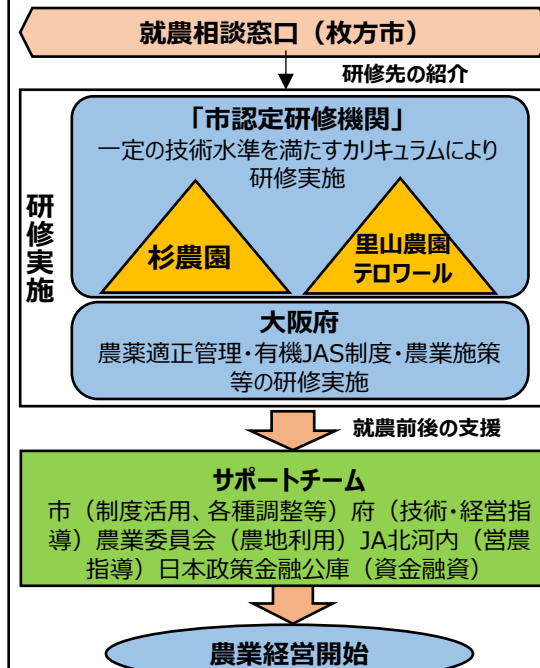
取組後(成果)

- R6年度の受講者13人のうち、新規就農者3人（うち1人は市外）
- R7年度は8名が受講
- 新規就農者の参入状況
R5:3人、R6:6名、R7:4人



農産物の販売

【誘致体制】



新規就農者や研修生の声

- 受講前は収穫に至らない野菜がたくさんあり、「なんでだろう？」と疑問だらけでしたが、受講後は「〇〇だから●●やってみよう！」と原因と対策が明確になりました。日々勉強ですが、これからも「美味しくて、売れる野菜」をつくっていきます。

新規就農者誘致環境整備事業 活用年度：令和7年度

【問合せ先】枚方市 農業振興課

TEL：072-841-1348

E-mail：nousei@city.hirakata.osaka.jpHP：https://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/22-2-0-0-0_3.html